

2016年7月14日  
東日本旅客鉄道株式会社  
大宮支社

## 浦和駅「エコステ」モデル駅の整備について

JR東日本では、省エネルギー・再生可能エネルギーなど、様々な環境保全技術を駅に導入する取り組み「エコステ」を実施しています。

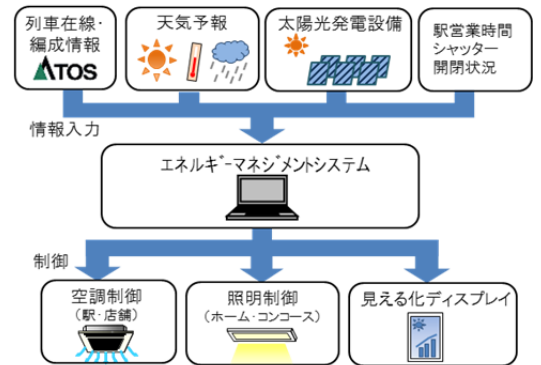
大宮支社では、浦和駅を「エコステ」モデル駅として、使用電力を「駅の営業時間」・「列車ダイヤ」・「天候等」に合わせて、自動かつ最適に制御するエネルギーマネジメントシステムを、鉄道の駅として初めて導入します。同時にLED照明や太陽光発電パネルを導入し駅の快適性確保とCO<sub>2</sub>削減を両立します。

CO<sub>2</sub>排出量は2015年に比べて約40%（約304t）の削減を見込んでいます。

また、地域との連携をキーワードに、地域のサッカー場の芝を再利用した新しい意匠のベンチをホームに導入します。

工事は、2016年9月頃から着手し、2017年3月の使用開始に向け、整備に努めてまいります。

工事期間中は、お客さまにご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。



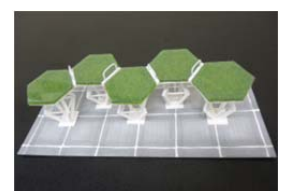
エネルギーマネジメントシステム構成イメージ

### 浦和駅「エコステ」整備概要

- ①【省エネ】 一歩進んだ省エネルギー化の推進  
エネルギーマネジメントシステムによる照明・空調制御、LED照明
- ②【創エネ】 再生可能エネルギーの積極的な導入  
太陽光発電設備
- ③【エコ実感】 お客さまが「エコ」を実感できる施設の整備  
見える化ディスプレイ
- ④【環境調和】 人と環境との調和による活気の創出  
エコベンチ、ホーム上家散水装置



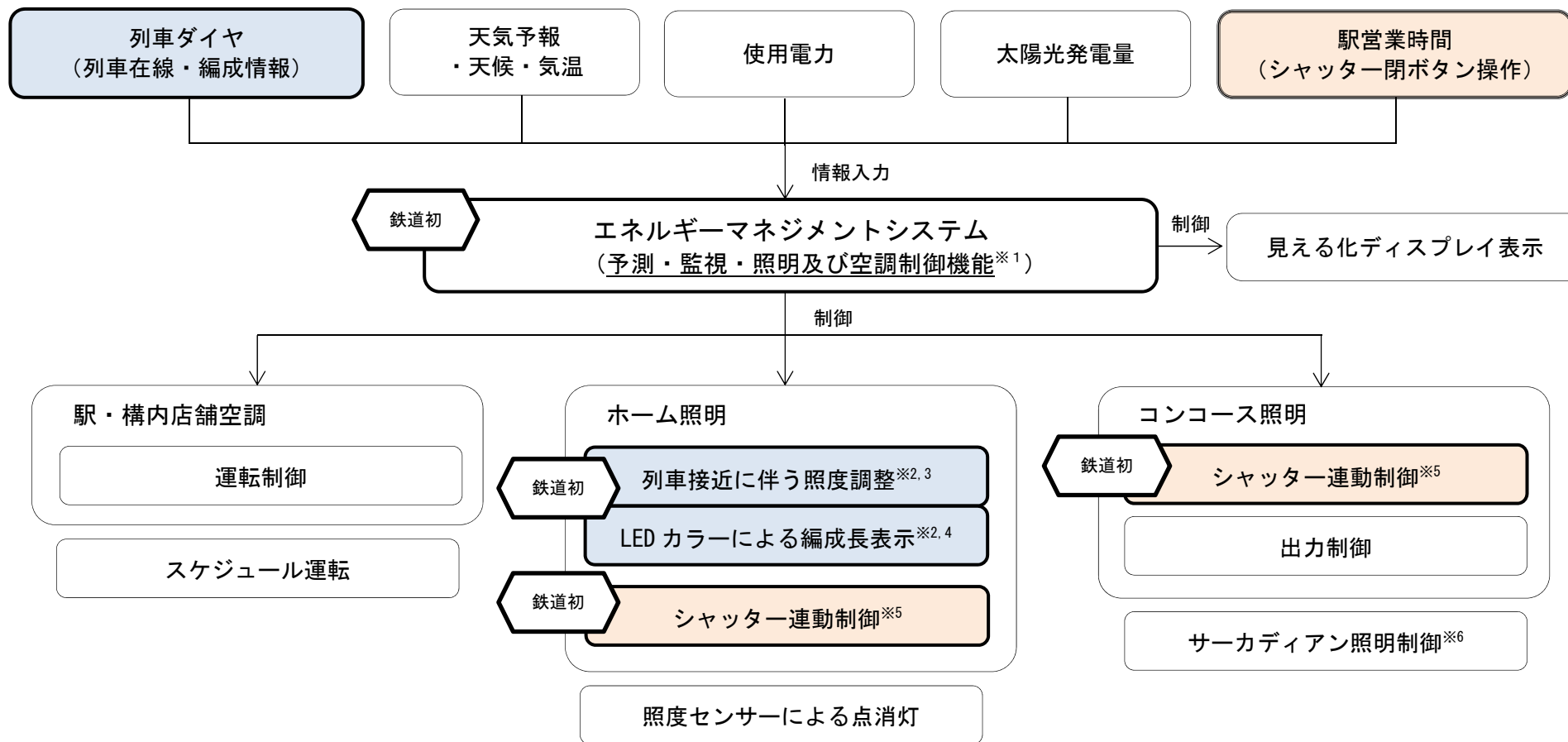
LED照明



エコベンチ

(別紙1・2参照)

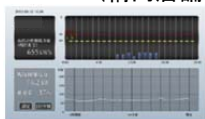
## エネルギーマネジメントシステムの構成



- ※1 前日に天気予報等の情報から使用電力を予測し基準値とします。当日は天候や太陽光発電量の実態に合わせて基準値を時点修正し、使用電力が基準値を超えた場合は照明・空調を制御します。
- ※2 通常の照度制御に加えて、列車ダイヤ（列車在線・編成情報）からホーム照明の照度調整及びLEDカラーによる編成長表示を同時に制御します。
- ※3 列車位置情報によりホーム照明が明るくなってお客さまに列車の接近をお知らせします。
- ※4 列車の編成長やグリーン車の停車位置をLEDカラーでお知らせします。
- ※5 駅のシャッター閉ボタン操作に応じて照明が消灯又は減灯します。
- ※6 人間をはじめとする生物に備わっている1日のリズムに合わせて、LED照明の調光・調色機能を活用して朝は活気のあるあかりに、夜はくつろぎ感のあるあかりに演出します。これにより1日の時間の流れにあわせた心地よい空間をつくります。

浦和駅「エコステ」概要

①エネルギーマネジメントシステム  
制御範囲：浦和駅全体  
(構内店舗含む)

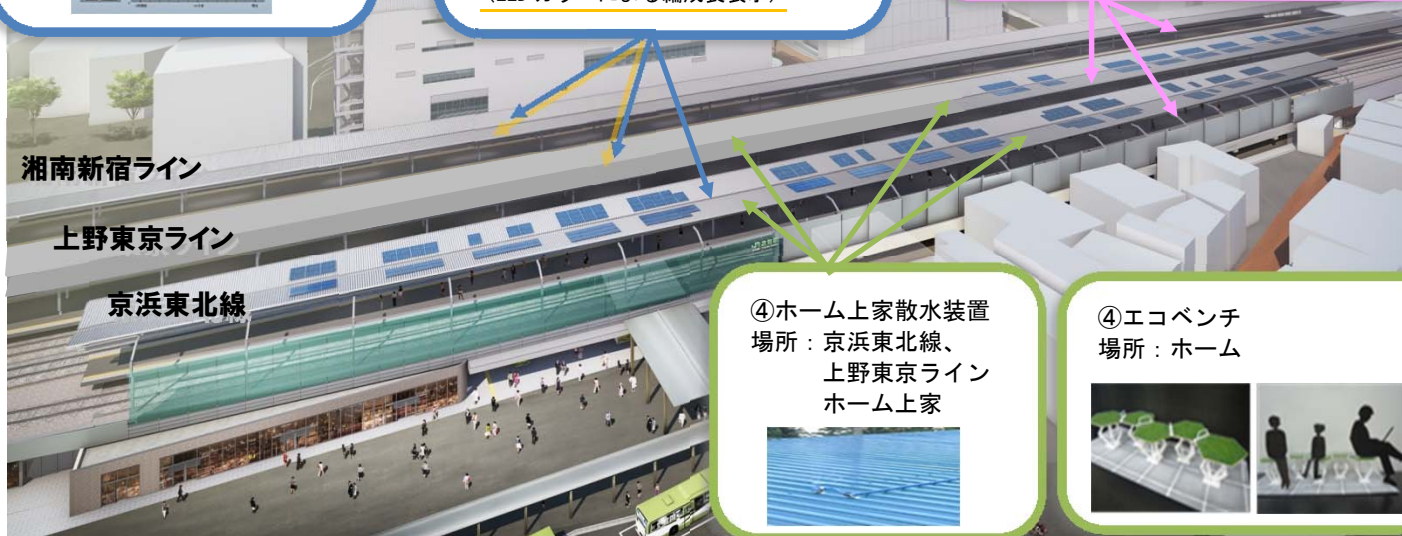


①LED照明 場所：ホーム



(列車接近に伴う照度調整) ※1  
(LEDカラーによる編成長表示) ※2

②太陽光発電設備  
場所：京浜東北線、上野東京ライン  
ホーム上家、駅配電所

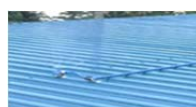


湘南新宿ライン

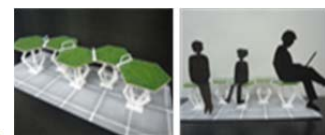
上野東京ライン

京浜東北線

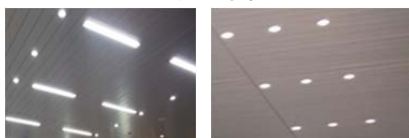
④ホーム上家散水装置  
場所：京浜東北線、  
上野東京ライン  
ホーム上家



④エコベンチ  
場所：ホーム



①LED照明  
場所：コンコース、駅事務室

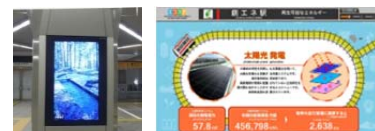


(コンコース：サーカディアン照明制御)



改札外コンコース

③見える化ディスプレイ  
場所：改札付近



※浦和駅の例

※海浜幕張駅の例

凡例

- ①【省エネ】 一歩進んだ省エネルギー化の推進
- ②【創エネ】 再生可能エネルギーの積極的な導入
- ③【エコ実感】 お客さまが「エコ」を実感できる施設の整備
- ④【環境調和】 人と環境の調和ならびに活気を創出

- ※1 京浜東北線、上野東京ライン、湘南新宿ラインのホーム照明で行います。
- ※2 上野東京ライン、湘南新宿ラインのホーム照明に設置するLEDカラー表示器で行います。